

第2期

馬路村まち・ひと・しごと創生

総合戦略



令和2年5月

馬路村

目 次

第1章 基本的事項	1
1. 趣旨	
2. 位置付け	
3. 計画期間	
4. 目標	
5. 推進体制	
第2章 基本目標と基本的方向	2
基本目標1 魅力的なしごとをつくる	
数値目標	2
基本的方向	2
施策と具体的事業	2
K P I	3
基本目標2 村外の人々とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる	
数値目標	4
基本的方向	4
施策と具体的事業	
1. 村外の人々とのつながりの強化	4
K P I	4
2. 移住に向けた行動の促進	5
K P I	5

基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標 6

基本的方向 6

施策と具体的事業

1. 結婚しやすい環境の整備 6

K P I 6

2. 子育てしやすい環境の整備 6

基本目標4 魅力的な地域をつくる

数値目標 7

基本的方向 7

施策と具体的事業

1. 豊かな人間関係の構築 7

K P I 7

2. 教育文化の充実 8

K P I 8

(参考) 第2期馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略と持続可能な開発目標
(SDGs) との関係 9

第1章 基本的事項

1. 趣旨

馬路村では、令和2年3月末時点の人口は849人（住民基本台帳）となっており、将来にわたって活力ある馬路村を実現するためには、人口減少をできる限り抑制し、一定程度の人口を維持していく必要がある。「馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020-2024」では、人口維持を目指し、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進することを目的とし策定する。

2. 位置付け

本総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づく「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、国・県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して策定したものである。また、本村における人口の現状と将来展望を示した「馬路村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を踏まえて策定している。

3. 計画期間

令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5年間とする。

4. 目標

改定した「馬路村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の人口の将来展望に基づき、令和7年（2025年）時点の目標を人口676人（国勢調査）とする。

5. 推進体制

本総合戦略は、馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定・推進のために設置している「馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略審査委員会」の意見を踏まえて策定した。本総合戦略の実行状況・効果を検証するとともに、必要に応じて見直すため、計画期間中は本委員会を毎年度1回以上開催し、意見を聴取するものとする。

第2章 基本目標と基本的方向

基本目標1

魅力的なしごとをつくる

数値目標： 村内主要民間事業体の総雇用者数（常勤、村外からの通勤者を含む）
＝5年間累計19人以上の増

※ 主要民間事業体：馬路村農業協同組合
馬路村森林組合
馬路林材加工協同組合
エコアス馬路村
馬路温泉運営協会

基本的方向：

馬路村の人口を一定程度維持するためには、村内での生活を支えられるしごとが不可欠であるが、日本中にしごとがあふれている現在、馬路村を選んでしごとをしてもらうためには、より魅力的なしごとが必要であることから、

1. 給与を増加させるとともに労働の負担を軽減することにより、被雇用者の満足度を高める。

施策と具体的事業：

1. 給与の増加と労働負担の軽減

付加価値の高い商品の開発・販売により生産額を増大させ、給与の増加につなげるとともに、省力化・働き方改革により労働の負担を軽減する。

①農業・農産加工業

- ・安定的、効率的な原料生産の支援
- ・新商品開発や製造販売への支援
- ・未利用資源の活用
- ・水田の維持と山間米のブランド化

②林業・木材産業

- ・森林経営計画の樹立
- ・素材生産効率化の支援
- ・新商品開発の支援
- ・既存木製品の販路拡大支援
- ・魚梁瀬杉の再ブランド化

③観光業

- ・村観光戦略の樹立（景観整備、観光施設整備、観光協会設立等）
- ・着地型旅行商品（村内ツアー・体験型観光等）の開発
- ・馬路村ふるさとセンターの機能強化（英語での情報発信等）

④共通事項

- ・ふるさと納税の推進（小規模生産者による特別な返礼品、クラウドファンディング型、企業版の検討）
- ・特定地域づくり事業の検討
- ・民間事業者の働き方改革の支援（労働負担を軽減する機械の導入支援等）
- ・後継者育成支援
- ・村内企業と連携した情報の発信

KPI

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和元年度）	目標値（令和6年度）
農産加工品の販売額	29.2 億円	36 億円以上
林業事業者の売上額	473,131 千円	5 億 2 千万円以上
観光客数 (うまじ温泉宿泊者数で代表)	7,387 人	9,500 人以上
ふるさと納税	1.2 億円	3 億円以上

基本目標 2

村外の人々とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる

数値目標： 移住者数＝5年間の累計40人（既存の社会移動を除く）

基本的方向：

人口の自然減が続く馬路村で、人口を一定程度維持するためには、移住者を増加させることが必要であるため、

1. 村外の人々とのつながりを強化することにより、関係人口（潜在的なUIJターン者）を増加させる。
2. 移住に向けた行動を促進し、UIJターン者を増加させる。

施策と具体的事業：

1. 村外の人々とのつながりの強化

馬路村に関心を持つ方々が長期滞在できる比較的安価な宿泊施設を整備するとともに、滞在機会を提供し関係人口を構築する。

①長期滞在用施設の整備

- ・シェアオフィスの整備
- ・シェアハウスの整備

②滞在機会の提供

- ・ワーキングホリデーの実施

③情報発信の強化

- ・馬路村役場、ふるさとセンターホームページの定期更新
- ・村内企業と連携した情報の発信（再掲）

KPI

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和元年度）	目標値（令和6年度）
長期滞在用宿泊施設数	0	1以上
ワーキングホリデー希望者数	7人（単年度）	35人以上（累計）

2. 移住に向けた行動の促進

馬路村での生活に関する情報を提供することにより、理解を促進し、UIJ ターン希望者を増加させる。

①住宅環境の整備

- ・村営住宅建設
- ・空き家住宅整備
- ・土地の分譲

②UIJ ターンに関する理解促進

- ・馬路村役場ホームページの改修、定期更新
- ・各種イベントでの資料配布、説明
- ・移住コンシェルジュの継続配置

KPI

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)
新規整備住宅戸数	0 戸	4 戸以上 (累計)
移住相談件数	24 件 (単年度)	150 件以上 (累計)

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標： 出生数＝5年間の累計 20人

基本的方向：

馬路村では人口の自然減が続いているが、将来にわたって人口を一定程度維持するためには、次世代の村民が必要であるため、

1. 結婚しやすい環境の整備により、婚姻数を増加させる
2. 子育てしやすい環境の整備により出産への不安を取り除き、出生数を増加させる

施策と具体的事業：

1. 結婚しやすい環境の整備

出会いの場を創出することにより結婚への関心を高め、経済的な支援を行うことにより結婚を促進する。

① 結婚しやすい環境の整備

- ・ 出会いイベントの主催
- ・ 出会いイベントへの参加支援

② 結婚に関する経済的支援

- ・ 結婚祝金の贈答

KPI

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)
婚姻数	7 (H28～31 累計)	10 (累計)

2. 子育てしやすい環境の整備

子育てに関する支援を充実させ、安心して子育てできるようにする。

① 子育てに関する支援の充実

- ・ 就学前教育の充実
- ・ 妊娠期から子育て期までの切れ目ない総合的な支援

基本目標 4

魅力的な地域をつくる

数値目標： 転出者数＝5年間の累計 150人以下

基本的方向：

馬路村の人口を一定程度維持するためには、馬路村に居住し続けてもらわなければならないが、そのためには、魅力的なしごとがあるだけでなく、魅力的な暮らしができる地域であることが必要であるため、

1. 豊かな人間関係を構築することにより、村民が助け合う暮らしやすい地域とする。
2. 教育文化を充実させることにより、村民の誇りとなる地域とする。

施策と具体的事業：

1. 豊かな人間関係の構築

村民主体の活動を促進し、自発的な取組が生まれやすくする。

①村民主体の活動の促進

- ・公共交通空白地有償運送の実施
- ・村民の意識改革に向けた検討
- ・居場所と役割のあるコミュニティづくり（防災活動・集落活動センター・あったかふれあいセンターなど）

KPI

重要業績評価指標（KPI）	基準値（令和元年度）	目標値（令和6年度）
村内 NPO 数	0	1 以上

2. 教育文化の充実

馬路村の特色を活かした教育を行うとともに、歴史・民俗遺産を維持・活用することで教育・文化、両面において魅力的な地域にする。

① 特色のある教育

- ・魚梁瀬山村留学制度の魅力向上支援
- ・コミュニティスクールの実施検討

② 歴史・民俗遺産の維持・活用

- ・木工技術の承継
- ・郷土館等施設の有効活用
- ・中芸日本遺産の保存・活用

KPI

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)
新規魚梁瀬山村留学生	4世帯 (H28~31 累計)	5世帯 (累計)

(参考) 馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略 2020-2024 と持続可能な開発目標 (SDGs) との関係

総合戦略の基本目標	関連する SDGs の目標
魅力的なしごとをつくる	目標 1 貧困をなくそう 目標 8 働きがいも経済成長も 目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
村外の人々とのつながりを築き、 新しいひとの流れをつくる	
結婚・出産・子育ての希望をかな える	目標 3 すべての人に健康と福祉を
魅力的な地域をつくる	目標 1 貧困をなくそう 目標 3 すべての人に健康と福祉を 目標 4 質の高い教育をみんなに 目標 5 ジェンダー平等を実現しよう 目標 10 人や国の不平等をなくそう 目標 11 住み続けられるまちづくりを 目標 16 平和と公正をすべての人に 目標 17 パートナースhipで目標を達成し よう